

工学院大学後援会
就職と進学に関する懇談会

情報学部
学部長 蒲池みゆき

ご挨拶

後援会御父母、保証人の皆様、日頃から工学院大学へのご支援誠にありがとうございます。
情報学部長の蒲池みゆきです。

例年ならば、春から夏に開催される父母懇談会にて直接ご挨拶できる機会も多くありますが、2020年度はコロナ禍の影響で様々な大学行事と共に御父母の皆様との直接お会いすることもままならず、このような時期に書面でのみのご挨拶となりましたこと、誠に残念に思っています。

このような状況下においても、来るべき社会人としての将来に向けて、学生の就職活動は各企業、団体の工夫のもとで着々と進められています。先生方からの詳しい説明を動画でご覧いただけるとは思いますが、学生の皆さんの就職活動に対し、就活関連イベントや面接指導、ESや履歴書作成など大学でも様々な取り組みを行っております。それらの支援を最大限活用するよう、学生の皆さんにはHPや指導教員を通して周知しているところですが、御父母からのお声かけ、精神面・経済面でのサポートも就職活動の大切な支えとなります。

私自身、情報学部の後援会幹事を2014・2015年度の2年間務めさせていただき、支部などで就職に関する講演を何度もさせていただきました。御父母が大変熱心に耳を傾けて下さり、また、お子様を取り巻く就職状況を理解された上で、その会へのご参加をきっかけに一層会話をすることが増えた、というお話もよく耳にします。将来を考えるのはもちろん学生本人で、御父母が代わって悩みを抱える、考えすぎる、というのは逆効果な場合もあります。是非、各自が社会へ巣立つその日まで、決断される道筋を温かい目で見守っていただき、時に励まし、時に先輩としての冷静な目でアドバイスを送るなど、寄り添うことで支援をしていただければ大変ありがたいと思っています。

大学では、学生の学びや成長を止めることなく学修を進めていただくため、様々な面での変革と工夫を必要とした一年でした。また、学生さんお一人お一人が、通常の大学生活とは質の異なる苦勞を強いられた一年だったかもしれません。しかし、皆さんの真摯な努力、勤勉さは身近にいる我々にも伝わっていると同時に、周囲を取り巻く社会からも理解され、強くサポートされています。高度な知識と技術を身に付け、新しい時代を担う人は、どのような社会変化にも柔軟に対応できることが期待されているからこそ、社会からも支援があるのでしょう。コロナ禍で、皆さんが学ばれる「情報」の分野はますます社会から必要とされる領域になり、工学院大学の情報学部で学んだ学生さんへの期待感はさらに高まっています。大学での学びに自信を持ち、ご自分の能力や熱意を最大限効果的に引き出せるような将来像を描き、就職・進学に夢をもって進んでいただくことを心から期待しています。